

- 一 はしごき
 - 二 争議発生近因
 - 三 争議遂に勃発す
 - 四 堂々たる争議団の陣容
 - 五 調停悉く破る(兎) 資本家の好謀暴行路す
 - 六 狂んたる應援
 - 七 更に徹底的應援を乞ふ
- 争議団凱へんとす

はしごき

岐阜縣土岐郡笠原町瀧呂は 全國でも有数の輸出器生工場
 瀧呂製陶業組合に属する製陶工場が三十二戸あり、
 余名の労働者が働いてゐる。生産品はアメリカ向へ輸出されるコト
 確り大部分を占めてゐる

瀧呂は最近約十年以内に急速に発達した製陶地であつて、工場は
 漸く家内工業の域を脱し、近代の工場組織に進んだばかりの状態に
 ある。資本家も労働者も共に殆んど土着の人々であるが、最近約
 五十名の鮮人労働者が移入された。所に於ける最も著しい特色は
 近年製陶産業の急速な発達に依り、市民の全体が少数の資
 本家と、その工場に働く多数の賃銀労働者との二階級に截然と
 二分されて、殆んどその中間階級を残さぬことである。而して資本家に
 共通する態度は、極度に貪婪無耻無識であつて、而して傲慢不遜と極